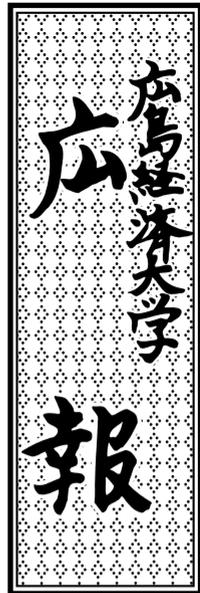


学長対談

広島商工会議所会頭 池田 晃治氏を迎えて



いけだ・こうじ 1977年広島銀行入行。2012年に頭取、18年から会長。19年11月に広島商工会議所会頭に就き現在2期目。三原市出身。



発行所 広島経済大学 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 郵便番号731-0192 電話番号(082)871-1000(代) オフラインサイト https://www.huc.ac.jp/

2面 2023年度入学式挙行
3面 取り戻しつつあるキャンパスライフ
4面 留学雑誌/アカデミックの扉
5面 2023年度広島経済大学学生表彰 石田学園各種奨学生決定
6面 2024年度学生募集要項

大学を取り巻く社会環境の変化は、特に地方の私立大学にとって大きな課題となっている。一方、地域を支える人材の輩出という点で、私立大学は企業から高い期待を寄せられている。広島経済大学への期待(学生へのメッセージなど)を、広島商工会議所の池田晃治会頭に、学長の石田優子が聞いた。

— G7広島サミットを振り返って

学長 会頭として関わられたG7広島サミット、いかがでしたか。

会頭 これだけの大都市での開催は初めてで、さまざまな取り組みを各企業にご協力いただく形で進めました。また、広島を世界にアピールする絶好の機会でもあり、食べ物、お酒など広島県産品の情報を各企業から募り、取りまとめて外務省に提出する業務も行いました。サミットを契機に広島の経済は今後さらに成長していくだろうと期待しています。

— 若いうちに社会と共生する経験が大事

学長 学生は就職活動で初め企業のことを知るケースも多いのですが、できれば学びの中で企業と知り合い、一緒に経験を積みチャンスがあれば、本学でも試行錯誤しています。

会頭 貴学では、興動館プロジェクトなど多くの事例があるように、地元企業や団体と地域連携・産学連携を実践されていて、素晴らしいと感じています。

学長 そのために、協力をいただける企業を探しています。例えば「食品ロスをもったいない」という学生の問題意識に賛同した地元スーパーが、学生のプロジェクト活動に協力してくださいました。一緒にやらせていただくことで、学生だけではできないこと

— 広島の魅力を再発見してほしい

学長 賑わいといえば、広島では人口流出が課題となっています。大学としても気になる問題なのですが、広島の魅力は若者に伝わっているのでしょうか。

会頭 広島にはさまざまなプロスポーツがあり、文

化もあり、都市機能も充実しています。ただそういうことが当たり前すぎて、魅力だと気づいていない人が多い。魅力を再発見してもらうには、人が集まるための仕掛けづくりも必要です。例えば来年、街中に誕生する新サッカースタジアムなどはその大きなきっかけになると思います。

— キーワードは「自分が何をしたいのか」

学長 起業家精神とは、失敗を恐れないチャレンジ精神と言えるでしょうか。

会頭 そうですね。ときには失敗が必要な経験です。アメリカのシリコンバレーに行くと、失敗しても彼らは平気なんです。それは投資家たちの意識が違うということもありますが、日本でもベンチャーがリスクを切りやすい環境を整えていくことは課題でしょう。また地方都市では労働力の流動性が低いことも一つの問題かもしれません。失敗してもすぐに次の仕事が見つけられる、というように広島でも再チャレンジ可能な社会を作っていく必要があります。

— 次代をひらき、豊かな人生を送るために

学長 今後、AIが進化してくると、人間でなければできない創造的な領域を担う意味でも求められる人材像が変わってくると思います。その中で次代をひらき、豊かで幸せな人生を送るために、

会頭 それよりもマリンスポーツやウインタースポーツなど、レジャーが楽しめる街で働く方がワークライフバランス的にも良い。そういう意味では広島はうってつけです。「どこに勤めたいか」ではなく「自分が何をしたいのか」、これが今の時代のキーワードかもしれません。

学長 与えられたものへのみにするのはなく、批判的に検証する力ですね。

— 次の時代へ、扉を開けよう

学長 若い人たちが社会を変えていく。いつも、もう今は皆さんの時代ですよ、と言ってるんです。彼らが、社会のためにイノベーションを起こせる環境をつくりたい。

会頭 自分で考えていない人間は、話せばすぐにわかります。「それはなぜそうなのか」と質問しても表層的な答えしか返ってきません。



広島商工会議所 会頭 池田 晃治氏



広島経済大学 学長 石田 優子

2023年度入学式挙行



式辞を述べる石田優子学長

4月1日、2023年度入学式が本学石田記念体育館において、執り行われた。昨年度までコロナ禍のために設けていた人数制限を

撤廃し、多くのご家族や来賓、教職員らが祝福するなか、経済学部(経済学科272名)、経営学部(経営学科316名)、スポーツ経営学科(76名)、メディアビジネス学部(ビジネス学科55名、メディアビジネス学科73名)、大学院生9名が「ゼロから立ち上げる」興動人を目指して一歩を踏み出した。石田優子学長は式辞のなかで、建学の精神「和を以て貴しと為す」や大学開学の理想「大学の道は明徳を明らかにするにあり」を説き、そうした理念理想のもと、学びに向き合い、挑戦して経験を積むことの大切さを伝え、激励の言葉を送った。続いて学部を代表して曾我部杏優さん(経済学科・愛媛県新居浜西高校出身)と、大学院を代表して富永幸子さんの2名が「学術の研鑽に専念し、世界の平和・繁栄に貢献し得る人物となるべく、努力をいたします」と、それぞれ宣誓の言葉を述べた。その後、水野隆司同窓会長からお祝いの言葉が贈られ、最後に大学歌を静聴し、厳粛のうちに終了した。式典後は大学院及び学科のゼミごとに分かれて、オリエンテーションを実施。これから大学生活を共にする新しい仲間や教員と交流を深めた。また、学生会館前では、ダンスや音楽系の部・サークルによる学生パフォーマンスが4年ぶりに行われ、歓迎ムードに包まれた。

2023年就職率98.8%

一人ひとりに寄り添い、状況に応じて柔軟に学生をサポートする「オーダーメイド」の就職支援が、高い就職率を支えている。2023年3月卒業生の就職率は、98.8%(就職希望者)だった。

就職支援は3年次の春から本格化する。就職活動準備ガイダンス、インターンシップに特化した講座をはじめ、秋からは就職ガイダンス、実践的な対策講座などを開催してきた。学内合同企業セミナーでは1日30社、7日間で210社と接点を持つ。このほか、キャリアセンターの職員9名がゼミ教員と連携し、3年次後期に学生全員と面談も行った。4年次の4月に内定を獲得している学生は少なく

なかったが、就職活動になかなか踏み出せない学生も一定数みられた。オンラインでの就職活動が一般化し、周囲の動きが見えにくくなったこと、さらに、学生時代に力を入れて取り組んできたこと、いわゆる「ガクチカ」が少ないため、書くことができない内容が無いと悩んでいたことが、踏み出せなかった要因と考えられる。

本学キャリアセンターでは、支援プログラムでのガイダンスや講座などの就職



一人ひとりに寄り添うオーダーメイドの就職支援

2008年度入試からスタートした、興動館プロジェクトで活動したい人を対象とした総合型選抜(興動館選考型)に加え、2024年度入試より「学部学科選考型」「スポーツ実績選考型」を導入し、3つの選考型へリニューアルした。大学4年間の支援体制を整え、いよいよ始動した新しい総合型選抜について、導入の意図や狙い、特色について入試広報センターの長尾政宏センター長に話を聞いた。

新しい総合型選抜、エントリー始まる

新たな総合型選抜導入の経緯を教えてください。なげ今のタイミングとなったのでしょうか。
コロナ禍以降、社会構造が急速に大きく変化し、予見の困難な時代になったことから、新たな価値を創造していく力を選抜するために、多面的・総合的に評価するよう入試制度が必要となりました。本学においては、多様な学生たちがキャンパスで切磋琢磨することで、広い視野で思考し、行動することができ、人材に育ってほしいという思いから、特に重点を置いている「興動館教育プログラム」ゼミをはじめとする「学科の学び」、そして、

開学以来、優れた戦績を残している「スポーツ系クラブ」という3つの分野において、意欲溢れる学生を求め、入試として導入しました。
○それぞれの選考型にはどのような特色がありますか。
興動館選考型では、本学の人材育成プログラム「興動館教育プログラム」に興味・関心があり、その活動に積極的に取り組むリーダーシップをもった人材を求めるとなっています。
○総合型選抜で合格を目指す高校生へのメッセージをお願いします。
私たちは、学生一

総合型選抜
新たなラインナップ
学部学科選考型 NEW
スポーツ実績選考型 NEW
興動館選考型

できる人に受験してほしいと考えています。
スポーツ実績選考型では、高校3年間のクラブ活動の実績を評価し、大学に入学後もクラブ活動を継続する意志のある人を求めています。
○本学の総合型選抜を受験するメリットは何でしょうか。
それぞれが個性的な入試となっており、自分の特性や意欲などを最大限に活かせる入試を選べます。受験生の皆さんには広島経済大学に対する熱い思いや自身の魅力を入試でアピールしていただきたいと思います。

随想

最近、チャットGPTを中心に、いわゆる生成AIが脚光を浴びている。すでに、流行というよりも定着の域に差し掛かっているのかもしれない。学生たちの多くも生成AIを身近なものと感じはじめ、いろいろな場面で使っているようだ。

教育と生成AI、特に授業での取り扱いについて考えてみた。私は、ここ1年程度チャットGPTの普及に伴って、授業ではこの扱いをどうすればいいかを考えてきた。例えば、レポートや課題に対する生成AIの使用、日常の授業の調べも

扱いは、大きくまとめるのと以下の通りとなった。受講生約300名強のうち56名から回答があった。質問は「チャットGPTなどの生成AIと皆さんの学力についてどのように考えますか?今後授業等でどのように使っているか?という質問が多かった。総じて、何らかのルールや教員の指導の下で、授業では使っていくべきだという認識があるようだ。現時点で私自身は、多くの学生たちと同様何らかの工夫の下、授業で使っていくべきだと考えている。確かに、生成AIに頼り切っていたら、学力の低下のみならず考える力が失われそうではある。しかし、このようなテクノロジーが出現した以上、それを活かして、学生たちの能力の

チャットGPTと大学の授業



経済学部経済学科 重本 洋一 教授

のに対する使用などの扱いが考えられる。これらのことを考えるため、私の担当する2つの授業(1年次配当、3・4年次配当科目)の受講生に質問をし、学生目線から生成AIの授業での

向上を図るべきであろう。では、具体的にどうするかである。実践するとなると、非常に難しい問題である。この先、試行錯誤が続くであろうが、まずは今の授業(本稿執筆時点は2023年6月である)で次のような課題を課す予定である。大まかなテーマの論述問題を課し、学生は、その問題をより具体的な質問に変換して、それを生成AIに答えさせる。その回答に対して学生が自力で添削・批判・論評、ファクトチェックを行うというものである。また、個別、具体的な問題を作成してはいるが、この試みの結果がどのようなものになったかを今後の機会にまとめ、報告するつもりである。

2023年度 大学説明会開催



本学会場の様子

2023年度保護者会春季役員会開催
6月30日、2023年度保護者会春季役員会が、広島カーデンパレスにおいて、48名の出席のもと開催された。この役員会は、保護者会規約第11条により、保護者会総会の代行となるものである。役員会では、石田恒夫名誉会長の挨拶に続いて、2022年度の事業報告、会計報告並びに監査報告が行われ、引き続き、2023年度の事業計画(案)並びに予算(案)が提案され、原案どおり承認された。次に、学事報告として、岡田英幸事務局長から入学試験の結果、就



挨拶をする石田恒夫理事長

職状況をはじめ、学習支援体制など大学の近況について、詳細な説明が行われ、役員会を終了した。役員会終了後の懇親会では、新旧役員、顧問及び教職員による意見交換が活発に行われた。

キャンパス内に活気戻る



感染拡大防止のための「座席指定」での授業を廃止し、2023年度前期から本来の自由な席で受講できるようになった。思い思いの席で授業を受けることができ、活気のある様子が戻ってきた。また、全ての食堂で、アクリルパネルが撤去され、友人と会話を楽しみながら、食事をする姿も見られるようになった。「少しずつ日常が戻ってきたので友人たちと出かけることも気軽にできるようになりました。一緒にいろいろなことに挑戦したいです」と学生たちは目を輝かせた。これからも学生たちの理解や協力を得ながら、安心した大学生活を送ることができるよう感染対策との両立を図っていく。

仲間と海を越えて取り組む興動館プロジェクト



国際交流系の興動館プロジェクトである「インドネシア国際貢献プロジェクト」「カンボジア国際交流プロジェクト」がこの春、2019年9月の渡航以来、3年半ぶりに現地での活動を再開させた。両プロジェクトは発足以来、年2回渡航し現地ではしか得られない経験を大切にしてきたが、この3年半の間はオンラインなどで交流を続けてきた。渡航の再開に興動館の石田真英館長は「自分の目で見て感じた思いが、次に自ら考え行動を興す原動力になります。こうして一人ひとりの成長につながることももちろんですが、現地の方と直接お会いして、対象国の未来について共に話し合える機会が戻ってきて嬉しく思います」と渡航して活動することの重要性について語った。

定期演奏会「56th Light Music Concert」を開催



6月3日、学友会文化局主催の定期演奏会「56th Light Music Concert」を開催した。学生たちはこの日のために、遅い時間まで練習を重ねてきた。発表の場があることはモチベーションアップにつながり、それぞれが最高のパフォーマンスを発揮することができた。例年通りゲストを呼んでの開催は難しかったが、今年度は入場者の制限をなくし、本学関係者(在学生・教職員・保護者・卒業生)、一般の方も含め、約180名が来場した。

教えて！キャンパスライフ



6月21日、新しいイベントも開催された。女子学生会こまち会主催の「教えて！キャンパスライフ」である。大学生活に不安や悩みを抱える1・2年次生を女子学生を対象に、女子学生の先輩との交流を通じて、不安を解消し、前向きな大学生活を送るきっかけにしてほしいと企画された。こうした対面でのサポートが可能になり、女子学生たちが、より安心できる大学生活の手助けとなる活動を継続していく。

HUE campus life

取り戻しつつあるキャンパスライフ

4月1日より、新型コロナウイルス感染拡大下で実施してきた、教育研究活動における制限や対応を原則終了し、通常に戻すことを学生に周知した。ここでは、日常を取り戻しつつある本学の「今」を紹介する。

宮島セミナーハウス成風館でのゼミ合宿が再開



世界遺産・厳島神社の近くに立地する、本学施設の宮島セミナーハウス成風館でのゼミ合宿が2年ぶりに再開した。日本三景の一つでもある宮島での合宿は、本学ならではの特別な経験となり、多くのゼミで活用されてきたが、コロナ禍で宿泊を伴う研修は制限されていた。再開を機に、仲間と共に高め合える施設を使い、学びを体験し、成長を実感できる瞬間が増えていくことが期待される。

2023ひろしまフラワーフェスティバルに出展



6月10日～11日に、4年ぶりに開催された「2023ひろしまフラワーフェスティバル」に「興動人ひろば」として出展した。無料で楽しめるゲームや地元スイーツ店らと共同開発したオリジナル商品を販売するなど、7つの興動館プロジェクトがそれぞれの企画を盛り上げ、2日間で延べ3,134名の方にお越しいただき、興動館プロジェクトの活動を広く知っていただく機会となった。

学内で国際交流



交換留学生の受け入れが再開され、学内で国際交流が盛んに行われている。日本語学習をサポートしながら、留学生の母国語を学んだり、交流したりするランゲージパートナーとして、今年度は過去最多の26名の学生が活動している。7月には2023年度前期スピーチ発表会が開催され、留学生は日本語で、ランゲージパートナーは英語、韓国語、中国語で発表を行った。今後も学内で異文化に触れる機会を継続して設けていく。

私の出番は最後、ほとんどの学生は、すでに資格取得している学生は、教える側にと「説明できるほど理解できていない」ことに気づく。また、苦手意識をもっている学生は、「1人で勉強するよりも知識として定着しやすい」という。さて、私自身も大学時代は資格取得の勉強に多くを費やしたが、当時ある勘違いを起してしまっていた。解答が当たり前存在すると思ってしまうのである。資格の勉強において、必要なのはテキストと問題集の反復学習である。が、実

企業活動を描き出す会計を学ぶ



私のゼミには、日商簿記検定の資格取得を目指している学生が比較的集まっている。ゼミの時間に、皆で本番さながらの検定試験問題に挑戦することもある。この時間は、座学での簿記の授業とは異なり、3〜4名のグループで学生同士が何やかや言いながら解答を導く。誰か1人でも解けた人がいれば、その学生に解説をしてもらう。誰もわからなければ、皆で頭を悩ませる。実際にゲームしながら、何か取引をするたびにその「仕訳」を考える。面白いことに、簿記の資格取得者や簿記を得意だと

私のゼミナール 雑感

93

経営学部 経営学科 東幸代 助教

2023年度 広島経済大学学生表彰 石田学園各種奨学生 決定



学生表彰者

ビジネス学科4年・小山響生(経営学科4年)・上崎世界(メディアビジネス学科4年)・金子永実(経済学科4年)・上野綾華(メディアビジネス学科4年)・羽納望(スポーツ経営学科4年)・佐々木穂(ビジネス情報学科4年)・山城めい(ビジネス情報学科3年)・森川莉子(スポーツ経営学科3年)・繁浪駿汰(ビジネス情報学科3年)・喜多健士郎(経済学科3年)・高田壮真(ビジネス情報学科3年)・兵頭舞華(経営学科3年)・林未奈子(スポーツ経営学科3年)・西畑彩音(経営学科2年)・有福春菜(スポーツ経営学科2年)・石田直太郎(経営学科2年)・高田夏歩(経営学科2年)・岡元海月(メディアビジネス学科2年)・西瀧陸(経済学科2年)・村上羽奈(メディアビジネス学科2年)

2023年度広島経済大学学生表彰受賞者及び石田学園各種奨学生が決定した。今年度は、学生表彰者に3名、奨学生に34名の学生が対象者となった。決定した表彰者、奨学生は次のとおり。

●広島経済大学学生表彰(3名)
学部の2~4年次生において、前年度1年間に39単元以上修得した者の中で、学業成績の順位が各学年で第1位の者。
立石蒼依(メディアビジネス学科4年)・山城めい(ビジネス情報学科3年)・新田一希(経営学科2年)

●石田学園奨学生(21名)
石田学園奨学生(21名)は、学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。立石蒼依(メディアビ

ビジネス情報学科3年)・繁浪駿汰(ビジネス情報学科3年)・喜多健士郎(経済学科3年)・高田壮真(ビジネス情報学科3年)・兵頭舞華(経営学科3年)・林未奈子(スポーツ経営学科3年)・西畑彩音(経営学科2年)・有福春菜(スポーツ経営学科2年)・石田直太郎(経営学科2年)・高田夏歩(経営学科2年)・岡元海月(メディアビジネス学科2年)・西瀧陸(経済学科2年)・村上羽奈(メディアビジネス学科2年)

●石田学園アクトイブ奨学生(6名)
学業の修得だけでなく、さまざまな分野において若者ら



石田学園奨学生決定書授与式

石田学園奨学生

第18回 祇園・興動祭 開催のお知らせ



開催日:2023年11月12日(日)

祇園・興動祭は「地域とのつながりや交流によって祇園地区を活性化させる」ことを目的に、2006年から毎年開催してきました。18回目を迎えた今年も11月12日(日)、広島経済大学興動館において開催いたします。地域団体によるステージや興動館プロジェクトの特長を活かしたブース、地域と連携した企画など、多彩な催しをご用意して皆さまのご来場をお待ちしております。
※最新の情報は本学オフィシャルサイトをご確認ください。

問い合わせ先:興動館 TEL 082-832-5010

第56期 経大祭開催 10/22(日) テーマ:『Progress』

10月22日(日) 広島経済大学において第56回経大祭を開催します。今年のテーマは「Progress」です。和訳すると「前進する・進歩する」という意味です。ここ数年コロナ禍でさまざまな行動が制限された環境下にありましたが、制限が緩和される今年、コロナ禍以前の大学祭を取り戻すために、その一歩を踏み出す!という熱い思いが込められています。今年は来場制限をせず、在学生、教職員、関係者、卒業生、そして地域の皆さんにも楽しんでいただける経大祭を目指します。第56期大学祭実行委員会全員で気持ちを一つにして、皆さんに楽しんでいただけるようなたくさんの企画を用意していますので、ぜひお越しください。
※最新の情報は本学オフィシャルサイトよりご確認ください。

問い合わせ先:学務センター学生課 TEL 082-871-1003

同窓会外国人留学生奨学生決定



同窓会外国人留学生奨学生に決まった劉春苗さん(中央)

6月5日、外国人留学生を支援する学校法人石田学園同窓会外国人留学生奨学生に2023年度は中国出身の劉春苗さん(経営学科3年)に決定した。この奨学生制度は、同窓会から寄付を受けた広島経済大学が、毎年1名に年額50万円を奨学金として支給しているものである。劉さんは「石田学園同窓会外国人留学生奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。広島経済大学で幅広い分野の知識を学び、自己成長を実感しています。卒業後は日本の企業に就職し、広島経済大学で学んだことを活かして、中国と日本の架け橋となるため、国際経営に携わりたいと考えています。私にできることはまだ小さいかもしれませんが、将来的には社会へ貢献できるよう、努力を続けていきたいです」と感謝の思いと今後の抱負を語った。

の雰囲気改善してきた。練習量においてはチームNO.1であり、努力家である。学業においても、優秀な成績を取っていることや、今年は新たに英語のSATとして学生の指導にあたっていくため。

●繁浪駿汰(ビジネス情報学科3年) 〓 祇園から食品ロスなくそうプロジェクトをゼロから立ち上げた。メンバー5名でスタートしたが現在32名と順調にプロジェクトを発展させている。外部団体との関係を広げながら、さまざまな活動を行っているため。

●岩本綾乃(スポーツ経営学科4年) 〓 学業では優秀な成績を取ってTOEICも700点をクリアしている。また、興動館プロジェクトでは、「スポーツによる地域活性化プロジェクト」に所属し副リーダーとして組織をまとめた。

●石田学園奨学生(7名) 〓 内前年度からの継続3名。国際青年ボランティア、日本陸上競技連盟B級審判員として幅広く活動している。今年度は、イベント学会に研究助成が採択されていることや、新たに和み館

のRAとして留学生との交流を行っていくため。

●藤原優花(経済学科4年) 〓 「こまち会」の会長をはじめ、「地域発信プロジェクト」のSNS部署リーダーとしてこの1年間活動した。就職活動においては、第一希望の金融機関に内定しており、今後、こまち会が主催するキャリアデザイン講演会や、キャリアアセントAI主催のガイダンス等で後輩のために貢献したいと考えているため。

●久保美咲(経営学科3年) 〓 弓道部の主将として低迷していた女子団体の底上げをし、中四国新人大会では準優勝に導いている。興動館プロジェクトにおいても会計責任者として会計業務を立って直した。学業も頑張っており、この1年間の活躍を期待しているため。

サークルニュース

5月14日、広島県総合グラウンドで開催された「広島六大学野球2023春季リーグ戦」において、硬式野球部が近畿大学工学部を5-0で下し、全勝で上り詰め4季ぶり29度目の優勝を決めた。この優勝により、6月5日から東京ドームと明治神宮球場で開催された「第72回全日本大学野球選手権大会」に、4季ぶり16度目の出場。1回戦で国際武道大学と対戦し、1-9で敗戦した。

●陸上競技部が「第77回中国四国学生陸上競技対校選手権大会」3種目で優勝

5月19日(21日)、岡山県総合グラウンド陸上競技場で開催された、「第77回中国四国学生陸上競技対校選手権大会」において、陸上競技部の東秀太さん(経営学科2年)・兵庫県/三田松聖高校出身)が男子800m(男子)1500m(男子)の2種目で優勝。また、藤井

本学職員がハンドボール最優秀レフェリー賞を受賞

ハンドボール部の監督を務める入試広報センター榎崎潔課長補佐が日本ハンドボールリーグ(JHL)において、最優秀レフェリー賞を受賞した(3年連続10回目)。この賞はレギュラーシーズンにおいて、最も優秀であったレフェリーに贈られる賞である。榎崎課長補佐は今年の日本ハンドボールリーグレオフ男子FINALを

もってレフェリーを引退したが、世界のトッププレイヤーを肌で感じてきた経験を活かして、今後学生への指導に活かしていく。

▽日本グランプリシリーズ グレード1 第10回木南道孝記念陸上競技大会(男子800m) 東秀太(14位)

▽第107回日本陸上競技選手権大会第39回U20日本陸上競技選手権大会(男子400m) 村上瑛希(男子800m) 東秀太(3位) (男子1500m) 東秀太(6位)

▽日本グランプリシリーズ グレード1 第38回静岡国際陸上競技大会兼WACコンチネンタルツアーブロンズ大会(男子800m) 東秀太(13位)

▽日本グランプリシリーズ グレード1 第31回金栗記念選抜陸上中長距離大会2023(男子1500m) 東秀太(49位)

▽2023日本学生陸上競技個人選手権大会兼FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都) 日本代表選手選考競技会(男子400m) 村上瑛希(男子800m) 東秀太(3位) (男子1500m) 東秀太(6位)

▽日本グランプリシリーズ グレード1 第38回静岡国際陸上競技大会兼WACコンチネンタルツアーブロンズ大会(男子800m) 東秀太(13位)

▽日本グランプリシリーズ グレード1 第10回木南道孝記念陸上競技大会(男子800m) 東秀太(14位)

▽第107回日本陸上競技選手権大会第39回U20日本陸上競技選手権大会(男子400m) 村上瑛希(男子800m) 東秀太(3位) (男子1500m) 東秀太(6位)

▽硬式野球部 〓 第72回全日本大学野球選手権大会出場

サークル戦績

陸上競技部



2種目で優勝した東秀太選手



盾を手にする榎崎潔監督

2024年度 学生募集要項

学部及び大学院の入試要項を配付しています。
お申込みは本学オフィシャルサイト・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
(学部・大学院)入試広報センター ☎082-871-1313 / ✉ent-sc@hue.ac.jp
(留学生)国際教育交流センター ☎082-871-1002 / ✉int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程 【一般選抜】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(研究者養成コース・経済学専攻コース) 10名(外国人留学生、国外受験者、外国人留学生指定校推薦を含む)
出願期間	I期=2023年7月14日(金)~7月28日(金)【締切日消印有効】 II期=2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	I期=2023年9月6日(水)・7日(木) II期=2024年2月21日(水)・22日(木)
合格発表	I期=2023年9月14日(木)午後10時 II期=2024年3月1日(金)午後10時

【社会人特別選抜】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(経済学専攻コース) 若干名(外国人留学生を含む)
出願期間	I期=2023年7月14日(金)~7月28日(金)【締切日消印有効】 II期=2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	I期=2023年9月7日(木) II期=2024年2月22日(木)
合格発表	I期=2023年9月14日(木)午前10時 II期=2024年3月1日(金)午前10時

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(研究者養成コース) 3名(外国人留学生、国外受験者を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)~1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月21日(水)
合格発表	2024年3月1日(金)午前10時

■学部 総合型選抜

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 20名
エントリー期間	2023年6月11日(日)~8月27日(日)
全体説明・セルフチェック	2023年7月7日(金)~8月31日(木)
出願期間	2023年9月1日(金)~9月13日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年9月27日(水)~10月5日(木)のうち、いずれか1日(土日除く)
合格発表	2023年11月1日(水)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科46名)／経営学部(経営学科46名・スポーツ経営学科15名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科16名・メディアビジネス学科10名)
エントリー期間	2023年6月11日(日)~8月27日(日)
全体説明	2023年7月7日(金)~8月31日(木)
出願期間	2023年9月1日(金)~9月13日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年10月7日(土)
合格発表	2023年11月1日(水)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 60名
エントリー期間	2023年6月11日(日)~8月27日(日)
全体説明	2023年7月7日(金)~8月31日(木)
出願期間	2023年9月1日(金)~9月13日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年10月7日(土)
合格発表	2023年11月1日(水)午後3時

■学部 学校推薦型選抜(実績評価型)

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 15名
出願期間	2023年11月1日(水)~11月8日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年11月21日(火)
合格発表	2023年12月1日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 2名
出願期間	2023年11月1日(水)~11月8日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年11月21日(火)
合格発表	2023年12月1日(金)午後3時

■学部 学校推薦型選抜(資格スカラシップ1期/2期/3期)

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2023年11月1日(水)~11月8日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年11月21日(火)
合格発表	2023年12月1日(金)午後3時
出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 学校推薦型選抜(一般公募制)

募集人員	経済学部(経済学科55名)／経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科10名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2023年11月1日(水)~11月8日(水)【締切日消印有効】
試験日	2023年11月21日(火)
合格発表	2023年12月1日(金)午後3時

※3学科併願制 1回の受験で3学科まで出願することができます。

■学部 一般選抜(1期A方式・B方式・国立受験生支援入試/2期)

1期 A方式・B方式	募集人員	A方式=経済学部(経済学科50名)／経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科12名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科12名・メディアビジネス学科10名) B方式=経済学部(経済学科55名)／経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科13名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科13名・メディアビジネス学科10名)
	出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
	試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
	合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
	募集人員	経済学部(経済学科10名)
	出願期間	2024年1月4日(木)~1月19日(金)【締切日消印有効】
	試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
	合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
2期	募集人員	経済学部(経済学科20名)／経営学部(経営学科20名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
	出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
	試験日	2024年3月4日(月)
	合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 共通テスト利用選抜(1期/2期)

1期	募集人員	経済学部(経済学科40名)／経営学部(経営学科40名・スポーツ経営学科10名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名)
	出願期間	2024年1月4日(木)~1月26日(金)【締切日消印有効】
	合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
2期	募集人員	経済学部(経済学科10名)／経営学部(経営学科10名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
	出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
	合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。

■学部 社会人入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 編入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)~2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※希望者は、2023年10月5日(木)までに入試広報センター(082-871-1313)へご連絡ください。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 6名
出願期間	2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】
試験日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生入学試験(I期/II期)

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	I期=2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】 II期=2024年2月5日(月)~2月22日(木)【必着】
試験日	I期=2024年2月2日(金) II期=2024年3月1日(金)
合格発表	I期=2024年2月16日(金)午後3時 II期=2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生のための書類選考による入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年1月4日(木)~1月17日(水)【必着】
選考日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

人事

就任
令和5年5月30日付



経営学部長
細井 謙一

評議員
令和5年5月30日付

地域経済研究所所長
中嶋 則夫

昇格
令和5年6月1日付

異動
令和5年6月1日付

事務職
学務センター1教務課 竹田正義
課長▽平井香巻 課長補佐▽星加哲 課長補佐▽伊與木志保 学務

事務職
課長 学務センター1教務課 竹田正義
▽教育・学習支援センター1 平田浩章
▽学生相談室 白井綾
▽地域経済研究所 平本和美
▽学務センター1教務課 野村行宏
▽国際教育交流センター1 小柳昌生

退任
令和5年5月29日付

評議員
兼谷 英輝



センター1学生課 土田晃輔 主任
「教育・学習支援センター」 平田浩章 課長▽松本真由子(キャリ アセンター) 住本洋子 係長(入 試広報センター) 沖胡 一次長
▽情報センター1 團雅子 主事(興 動館) 矢田部樹 上権世

オープンキャンパス2023情報



オープンキャンパス2023を開催します。学部学科説明会や入試説明会などさまざまなプログラムを用意して皆さまをお待ちしております。
※最新の情報はオフィシャルサイトでご確認ください。
※事前申込をしていただくと入場がスムーズです。

中四国、県内遠方からは
無料送迎バスを運行します(要予約)
(問い合わせ先) 入試広報センター TEL.082-871-1313

BOOKS

- ◆広島経済大学経済研究論集 第46巻 第1号(2023年8月)
 - 【論説】
 - 内示プロセスにおける計画非継続性事象の基礎的検討
—内示更新を考慮した需要モデルの提案と在庫の分散の上界— 上野 信行(名誉教授) 得津 康義(教授) 丹羽 啓一(教授)
 - 『国富論』第1篇第5章での異時点間価値比較のための尺度 中川 栄治(名誉教授)
 - 【研究ノート】
 - 食文化の海外展開—オタフクソースのマレーシア進出の事例から— 松川 佳洋(教授)
 - 【資料】
 - 広島お好み焼き関係年表 細井 謙一(教授)
- ◆広島経済大学研究論集 第46巻 第1号(2023年8月)
 - 【論説】
 - 部活動の地域移行を考える 内海 和雄(名誉教授)
 - 日本の相続税法における税額控除制度に関する研究
—相次相続控除と配偶者に対する税額軽減について— 餅川 正雄(教授)
 - 【研究ノート】
 - 産学連携による布地を活用したブックカバーの開発 宮地 英和(准教授)
 - 【資料】
 - Schicksal eines Geleitflugzeugträgers der japanischen Marine im Zweiten Weltkrieg und seine Beziehung zu Hiroshima
—Begleitend zur Exkursion des von einem deutschen Passagierschiff zum Geleitflugzeugträger umgebauten Geleitflugzeugträgers *Shinyo* und der Militärhafenstadt Kure, Hiroshima—
第二次大戦時における1隻の日本海軍特設空母の運命と広島との関係
—ドイツ商船改造空母神鷹と呉軍港を実地見学するための手引き— 竹林 栄治(教授)
 - 【研究集会報告】
 - 室町時代における漢語「父母」の語形 坂水 貴司(助教)

学生の皆さんへ
『論集』には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

保護者様向けメルマガ配信
(通称:HUE(ヒュー)メール)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメルマガジンを配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから「保護者の方」をクリックしてください。

知の系譜 No.57

ベル「電話の研究」初版 1877年 ポストン刊
BELL, Alexander Graham, 1847-1922.
Researches in Telephony.
Boston: Press of John Wilson and son, 1877.

電気による通信手段として広まった電信をはじめ、19世紀は長距離通信の技術が急速に発達した時代であり、中でもグラハム・ベルによる電話の発明は社会に大きな影響を与えた。本書はその研究成果をアメリカ芸術科学アカデミーで初めて発表した論文である。
スコットランドで生まれたベルは、23歳の時に家族とともにイギリスからカナダへ移住し、24歳で単身アメリカのボストンへ移り住んだ。彼の父は聴覚障害を持つ人に視話法という発声法を教える専門家であり、彼も父の仕事を継いで学校を開き、その後、ボストン大学で発声生理学の教授となった。
本格的に音声や電気についての研究を始めた当初、ベルは電話ではなく複数のメッセージを同時に送信できる多重電信を開発しようとしていた。しかし、電気を通じて音声も送ることができると考えた彼は、共同研究者のワトソンとともに、電流の強さを変化させる仕組みについて研究を重ね、音声を送受信できる電話の開発を成功させた。
論文をきっかけにアメリカ芸術科学アカデミーで研究発表をした後、ベルは各地で電話の実演を行い、その価値を証明した。電話が実用化され広く普及したことで、それまで対面での会話や手紙、口伝え、電信に限られていた情報伝達の在り方が大きく変わり、人々の生活に画期的な進歩をもたらすこととなった。